

ご 挨拶

コロナ禍も第7波になってしまい、様々な予定などの変更にも迫られている方も多いと思います。そんな中で母校軟式野球部の活躍は一服の清涼剤以上のものを与えてくれました。

さて、皆様ご存知のとおり今年の新年総会は何とか開催できたものの懇親会は第6波の影響を受けて開催できませんでした。来年の新年総会・懇親会の開催も危惧される場所ですが、現時点でやらないという選択は尚早かつ任務放棄でもあり、幹事期の92期の方々を中心に行うという方向で準備しています。その具体案ですが、2023年1月28日土曜日の午後3時よりビエント高崎(問屋町)のエクセルホールで総会、その後ビックキューブで懇親会を予定しています。エクセルホールは473㎡、ビックキューブは2000㎡と広く、空調もよいものです。

また、今年は懇親会を行わなかったことから、総会・懇親会の会計は約100万円の黒字となりました。この用途ですが、先の常任理事・理事会に諮り、黒字分は来年の新年総会・懇親会の会計に繰り越させていただくこととなりました。その理由ですが、今年の開催場所である群馬メッセは1月時点でも既に予約できず、予約でき候補たり得る広い会場はビエント高崎だけでしたが、広いということもあってかなりの会場費がかかってしまいます。しかもホワイトインやビューホテルのように宴会とセットではないために、割高となってしまいます。さらには諸物価の高騰の影響もあります。また、チケット売り上げについて今年懇親会が開催できなかったことなどからも従前どおりの売り上げは期待できません。この様なことから単年度の会計では大幅な赤字が予想されるために繰り越さざるをえないという結論に至りました。特に、今年のチケットを購入していただいた方にはご迷惑・ご負担をおかけすることになってしまいお詫びするしかありませんが、ご理解の程をよろしくお願いします。母校支援のための費用は削るべきではありませんが、それ以外の不要不急の費用等については極力見直し・削減し、今後とも財政の健全化に努めたい

と考えています。

なお、本年5月の同窓会ゴルフ大会でも若手の参加が全くなく、同窓会としては若手の参加が喫緊の課題です。新年総会・懇親会など同窓会の行事については、先輩方ができるだけ若手を誘っていただくよう併せてお願いします。

世の中の活動自体がまだまだ制約されており、経済活動ではない同窓会活動はなおのこと制約されざるを得ませんが、その中でも母校とも十分連携を取り、出来ることを一つ一つ行っていきますので、今後とも同窓会活動へのご協力をお願いします。

同窓会長 坂 本 正 樹